



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年2月14日

上場会社名 J - アイスコ
 コード番号 7698 URL <https://www.iceco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 相原 貴久
 (氏名) 永野 泰敬
 配当支払開始予定日 未定
 TEL 045-811-1302

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	32,632		491	39.8	530	39.8	374	34.0
2021年3月期第3四半期	31,514		817		880		567	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	198.51	192.16
2021年3月期第3四半期	353.60	

(注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 2022年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当社は2021年4月8日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、新規上場日から当会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

3. 2021年3月期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったために期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,537	3,189	20.5
2021年3月期	14,316	2,337	16.3

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 3,188百万円 2021年3月期 2,335百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				24.00	24.00
2022年3月期		19.00			
2022年3月期(予想)				18.00	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2022年3月期第2四半期末配当の内訳普通配当17円00銭上場記念配当2円00銭

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,993	3.6	500	37.5	539	37.0	377	28.0	199.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	1,903,600 株	2021年3月期	1,605,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2022年3月期3Q	株	2021年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2022年3月期3Q	1,887,743 株	2021年3月期3Q	1,605,000 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想の将来に関する記述は、業績に与える不確実な要因に係る仮定及び本日現在における入手可能な情報を前提としており、実際の業績等は様々な要因等で大きく異なる結果となる可能性があります。